

## 自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域密着型認知症対応共同生活介護」の意義・目的を踏まえ、施設の運営理念を掲げています。ご利用者が地域と自由に交流を持ち、その人らしい生活を続けられるよう理念の基本方針に掲げています。	
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の理念の復唱をし、職員間での理念の共有に取り組んでいます。	
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ホームの入口掲示板に「運営理念」「運営方針」「重要事項説明書」を掲示し、来訪者の方、家族の方、地域の方にホームの理念を理解して頂けるよう分かりやすく説明しています。ホームの運営理念や内容を明示したパンフレットを市役所・病院・公共の場に置いて頂き啓発・広報に取り組んでいます。	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所の人に気軽に立ち寄って頂けるよう、挨拶・声掛けを行っています。また、行事の案内を回覧板にて配布しています。	
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域小学校の運動会・幼稚園の遊戯会等の参加をしています。また、ホームの行事として夏祭り・餅つき等を開催し、地域住民との交流を図っています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献  利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の人を対象とした「介護教室」等が、開催出来るかどうか検討中です。	○	認知症介護アドバイザーとして、地域の人達を対象に講座を開催する予定です。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者会議等を通じて評価を再確認し、職員全員がより良いサービスを提供できるように改善に取り組んでいます。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームの活動状況・事故報告・ホームの抱えてる問題点等をテーマに話し合い、報告書を作成、対応等を検討しサービスの向上に努めています。		
9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護支援専門員を中心に市町村との関わり、情報の交換をしています。地域小学校・中学校の職場体験実習の受け入れ等を積極的に行いサービスの質の向上に努めています。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者・職員は各種研修に参加し、地域福祉権利擁護事業・成年後見制度について学び、円滑に対応出来るよう努めています。	○	研修に参加した職員は研修報告書にて、他職員に伝達するようにしています。
11	○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	管理者・職員は各種研修に参加し、高齢者虐待防止関連法について学んでいます。地域福祉権利擁護事業・成年後見制度について学び、円滑に対応出来るよう努めています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	○契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を結ぶ際には、予め利用契約書、運営規定、重要事項説明書をご利用者様ご家族様にお渡しし、読んできていただき、再度契約時に説明させていただいています。疑問点などを尋ね、ご理解いただけるよう努力しています。		
13	○運営に関する利用者意見の反映  利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員は、日々の生活の中で、ご利用者様一人一人の状態把握に努め、話やすいよう環境、雰囲気作りに努めています。また、運営推進会議への参加をしていただき、意見、不満など外部者へ伝えられる機会を設け、意見などを運営に反映させています。		
14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホーム通信「スマイルハウス高萩通信」を月1回作成、家族の方に日頃の生活場面を報告しています。また、行事参加の呼びかけ、病院受診時の連絡、結果報告などを随時行っています。		
15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付窓口及び苦情解決責任者を配置しています。また、各ユニット玄関にご意見・苦情箱を設置しています。毎月の通信でも呼びかけています。家族会の中で意見要望を聞き、運営に反映させています。		
16	○運営に関する職員意見の反映  運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日のミーティングの中で職員の意見、提案を聞き、管理者会議で検討反映させています。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整  利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	ユニット間の勤務調整を行い、全ての職員がご利用者様の変化に対応出来るよう情報の共有に努めています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	常にユニット間の交流を図り、職員がご利用者様の情報を共有し、馴染みの関係を作りだすことに努めています。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	就職後の施設研修があります。外部研修にも参加できる機会を設けています。ホーム内では教育委員会を中心に介護知識、技術の向上を目指し、勉強会を開催しています。リーダー研修を終了した助言者が居ます。法人内研修も盛んで職員勉強会を開催しています。		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	夏祭りなどホーム行事の参加を呼びかけ、相互訪問の機会を設け、サービスの質の向上に努めています。		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	施設長、管理者が職員と面接を行い、職員個々の不安、不満を聞く働きやすい環境作りに努めています。		
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	部門方針検討シートを活用し、個々の目標を定め、職員各自が向上心を持って働けるよう努めています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前に実態調査をし、（主に介護支援専門員、居室担当者）ご利用様様の不安、要望等の聞き取りをし、受け止める努力をしています。	
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	最初のホーム来訪時、ご家族様から困っていること、不安、求めていることを聞き、受け止めるよう努めています。（主に介護支援専門員、管理者）	
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他のサービスも含めた支援が出来るよう主として介護支援専門員、管理者が相談に応じている。	
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に実態調査、生活と安全のカルテなどの活用により、ご利用様様が不安なく、生活出来るよう馴染みの品の持ち込み、趣味など職員全員が把握し、徐々にホームの雰囲気に馴染めるようご家族様と連絡をとり、相談しながらホームでの生活を支援できるよう努めています	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ご利用様様と共に、出来ることはしていただく生活をしています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	行事参加、お手伝いの呼びかけを主として、他病院の付き添いなど、出来ることは協力していただくよう随時連絡をとっています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族様、ご利用者様の関係の理解を深められるように、ご家族様来所時には、職員が積極的にコミュニケーションを図り、ご利用者様の生活の様子などを伝えています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用様からの要望がある場合には、ご家族様に連絡し、承諾を得て、馴染みの人、場所にいけるよう支援しています。		
31	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ご利用者様同士が、円滑なコミュニケーションが取れるように、職員がご利用者様の様子を観察し、支援しています。		
32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	自宅復帰した方については、居宅介護支援を通して、ホームでの夏祭など催しのある場合、ご案内をしています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居前の実態調査・生活と安全カルテなどにより、ご利用者様の思い、暮らし方の希望、意向の把握に努めています。	
34	○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の実態調査・生活と安全カルテなどにより、ご利用者様の馴染みの暮らし方、生活環境の把握に努めています。また、担当の居宅介護支援事業所と連携を図り、サービス利用の経過などの把握に努めています。	
35	○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日の生活の中で、ご利用者様一人一人の状態を観察し、有する力の把握に努めています。	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当者会議を通し、職員とご家族様、介護支援専門員、看護師、ご利用者様と話し合い、共に意見を出し合いながら介護計画書を作成しています。	
37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	長期目標、短期目標の達成日を明確にし、日々の記録を通し介護計画の見直しを行っています。入院など心身状況に急激な変化がおきた場合には、現状に即した介護計画の見直しを行っています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	情報を共有し、介護計画に沿った日々のケアの実践し、結果や気づき、工夫など担当者会議で記録を行い、計画の見直しをしています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご利用者様やご家族様の要望に応じ、職員間の情報の共有と共に、臨機応変に対応出来る体制をとって支援しています。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議を通して、民生委員や消防、警察、教育機関などと協力し、支援しています。		
41	○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご利用者様の意向や、ご家族様の意向、必要性に応じて、地域のサービス事業者、介護支援専門員と相談し、他のサービスを利用できるよう支援しています。		
42	○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	ご利用者様の意向、必要性に応じて権利擁護総合的・長期的なケアマネジメントなどについて、運営推進会議を活用しての相談や随時必要性に応じ協働しています。		



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご利用者様の意向や、ご家族様の意向を優先し、適切な治療を受けられるよう支援しています。		
44	○認知症の専門医等の受診支援  専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症治療病棟を持っている病院が母体のグループホームであり、職員の相談、ご利用者様の診断・治療は常に受けられる状態にあります。		
45	○看護職との協働  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	併設の通所介護事業所に看護師が居るので常に気軽に相談できる環境にあり、日常の健康管理や医療活用の支援をしています。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働  利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	母体が病院であり、早期退院を目指し、病院職員と常に情報交換をしています。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所時に看取りに関する指針を説明し、ご利用者様やご家族様の要望を聞きながら、医師や看護師と相談し、個々の要望を支援できるよう職員全員が方針を共有しています。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援  重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	母体が病院であり、重度や終末期のご利用者様がより安心して暮らせるよう日頃から常に連携を図り、緊急時のマニュアルを作成し、今後の変化に備えて検討・準備をしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	ホームから別の場所に移り住む際には、担当の介 護支援専門員と連携、情報を提供し、住み替える ダメージの防止に努めています。		
<b>Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>				
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>				
50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	個人のプライバシー保持を心掛け、ご利用者様に 尊厳ある生活を送っていただけるよう、職員全員 が言葉かけ、対応に配慮しながらご利用者様に対 応しています。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけ たり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよう に支援をしている	希望や思いを気軽に話せるように、常に声掛けを し、円滑なコミュニケーションをとっています。 職員本意の介護ではなく、ご利用者様の意志に 沿った介護を心がけてます。		
52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切にし、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	職員の都合優先の介護ではなく、ご利用者様一人 一人のペースに併せた介護を職員全員で心掛け、 ご利用者様のペースや希望に沿った支援をしてい ます。		
53	○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	理容、美容は、ご利用者様の希望する店に行ける よう支援していますが、希望のないご利用者様は 訪問美容室を利用しています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみとなるよう本日のメニューを台所に掲示し、ご利用者様と職員と一緒に準備や片づけをしています。週1回、ご利用者様の嗜好に併せて希望を取り入れて献立を立てています。		
55	○本人の嗜好の支援  本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	ご利用者様一人一人の希望に合わせ、おやつなど職員と一緒に外出、購入し、日常的に楽しめるように支援しています。		
56	○気持よい排泄の支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	職員がご利用者様の排泄パターンを把握し、ご利用者様の状態に合わせ、排泄の誘導をし、オムツの使用は出来るだけ減らせるよう支援しています		
57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ご利用者様の希望にあわせた時間帯に入浴できるように支援しています。		
58	○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	入居前の生活習慣を把握することにより、ご利用者様の状況や希望にあわせ自分のペースで休息したり、睡眠が確保できるよう支援しています。また、必要に応じて医師の診断・処方を受けています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活と安全のカルテやご家族の話により、入居前の生活歴を把握し、ご利用者様の楽しみごと、興味のある事を把握し、ホームでの生活が楽しいものと感じるよう支援しています。		


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご利用者様一人一人の希望に合わせ、ご家族様と話し合い、検討のうえ、お金を所持したり、使えたりできるように支援しています。自分で管理が難しい方には、職員が出納帳をつけ、ご家族様の了承の下に管理させていただいています。		
61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、散歩、ドライブ等、ホームの外に出かけるよう支援しています。		
62	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年間行事や季節の行事等で、普段いけない場所をご利用者様の希望を聞き決定しています。その際、ご家族様にも連絡し参加していただけるよう、働きかけています。		
63	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話を設置し、ご利用者様自ら電話の出来る環境を整えています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は設けず、いつでも気軽に訪問できる環境を整えています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	運営規定・利用契約書に身体拘束ゼロの方針を掲げ、身体拘束廃止委員会を設置し、職員の理解・意識付けを行っています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	自動ドアのため日中は鍵はかけませんが、徘徊傾向にあるご利用者様のために状況に応じ手動に切り替えたりしています。徘徊の理由を知る努力をする。外に出たい場合は抑制せずに行動の見守りをする。		
67	○利用者の安全確認  職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員休憩もご利用者様と共にとり、プライバシーの保護に注意しながら、昼夜問わずご利用者様の所在や様子を把握し、安全に生活できるよう配慮しています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理  注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品に関しては、ご家族様と話し合い、ご利用者様一人一人の状態に合わせ、居室に置くもの・ホームで管理するものの区別をし、危険防止の取り組みをしています。		
69	○事故防止のための取り組み  転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止マニュアルを整備し、速やかに対応出来る取り組みをしています。		
70	○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	教育委員会を中心に看護師の指導のもと、勉強会を開催し、ご利用者様の急変・事故発生時に応急手当・初期対応が出来るよう訓練を行っています。緊急時マニュアルを作り、速やかに対応できるよう努めています。		
71	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時に備え、避難訓練を消防指導のもと、定期的に行っています。月一回、避難訓練実施。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	一人一人に起こり得るリスクについてご家族様に説明、理解をしていただき、制限のない生活をもとに対応策を話し合っています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェックを実施し、異常時には看護師や病院に相談し、速やかな対応が可能な状態になっています。		
74	○服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報提供書をご利用者様の個人ファイルに保管し、薬の目的・副作用・用法・用量についていつでも全職員が確認できる状態になっています。用量・薬の変更等の際には、服薬後の状態観察を日々の記録に記入しています。		
75	○便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の原因や影響の勉強会を開催し、飲食物の工夫、機能訓練を実施しています。便秘症状のひどい方には、病院受診等により、症状の緩和に努めています。		
76	○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアを実施しています。ご利用者様の状態に合わせ、職員が支援しています。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	週6日は、タイヘイの福祉献立メニューを利用し、栄養バランスの確保をしています。ご利用者様一人一人の能力に合わせ、水分・食事量が摂取できるよう支援しています。お茶等をいつでも飲める環境を整えています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染予防対策のマニュアルを作成し、実施しています。また、教育委員会を中心に勉強会を開催しています。		
79	○食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材委員会を設置し、新鮮・安全な食材の確保と管理に努めています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	環境委員会を中心に、玄関や建物周りの清掃・安全管理を実施しています。玄関周りには、季節の花などを植え、又、畑を作り食物の収穫も出来るようになっています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同生活が楽しめるよう常に配慮しています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室を設置し、気に入った場所で思い思い過ごせる場所作りをしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に、ご利用お客様の使い慣れた好みの品を持ってきていただき、ご自宅と同じ様な空間で心地よく生活できるような居室に整えています。		
84	○換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のだよみがないう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	ご利用お客様の状況に合わせ、こまめに温度調節をしています。一日に二回換気に努めています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立した生活が出来るよう、安全面・使いやすさを重視した建物設計になっています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	毎日の生活の中で、全職員がご利用お客様一人一人のできる力を活かし、統一した支援をしています。		
87	○建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関周りには季節の花などを植え、駐車場脇に畑を作り、家庭菜園を楽しんでいます。水撒きや草むしり等は、利用皆様と共に行っています。		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



Ⅴ. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

医療法人を母体とするグループホームであり、病院との速やかな連携が可能です。